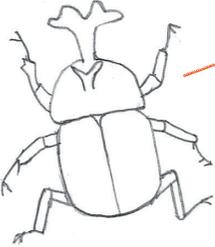




組み立て表

三上『クラスの「生き物ブック」』(64ページ)

題名	いろいろな虫の口 <u>と食べ方</u>		名前	東野 真二	
調べた きっかけ	<p>6/12(水) [チョウの口] ●ストローのような形。 ●花のみつをすう。</p> <p>〈調べた本〉 『チョウ』(〇〇文、〇〇社、2021年)10ページ</p> <p>ほかの虫の口の形も気になったので、調べてみようと思った。</p>				
調べた こと	<p>6/13(木) [カブトムシの口] <u>口</u> ●ブラシのような <u>小あご</u>。 ●じゅえきなどを、口にしみこませてなめる。 <u>そのため……</u></p> <p>〈調べた本〉 『こん虫ずかん』(〇〇かんしゅう、〇〇書店、2021年)57ページ</p>		 <p>口を大きく見せた図にかえる。</p>		
		<p>6/15(土) [カマキリの口] ●かむための口をしている。 ●前あして、こん虫などをとらえて食べる。 <u>そのため……</u></p> <p>〈調べた本〉 『こん虫ずかん』(〇〇かんしゅう、〇〇書店、2021年)42ページ</p>			
		<p>6/14(金) [セミの口] ●はりのような口をしている。 ●じゅえきなどをすう。 <u>そのため……</u> <u>かたい木の皮を口でつき通して、</u></p> <p>〈調べた本〉 『せみ』(〇〇文、〇〇書店、2019年)39ページ</p>			
まとめ	<p>●考えたこと 生き物によって、口の形がちがう。 食べる物がちがうからではないだろうか。</p> <p>食べ方に合った口の形をしている。</p>				

